## Related art 2

Abstract of Japanese Examined Patent publication No. Hei. 6-74104

Device about related art 2 comprises a pair of rotatable end holders for holing an inner tube of a paper roll from both sides, a casing for holding one of the end holders so as to be capable of moving backwards and forwards, a pinion engaging with a rack provided in the casing, a worm wheel provided in the pinion, an air motor having a worm for engaging with the worm wheel provided on an output shaft, a pressurized air supply source side pressurized air supply line, a first pressure reduction valve provided in the pressurized air supply source side pressurized air supply line, a pressurized air supply line for advancing the end holders and a pressurized air supply line for reversing the end holders on the air motor side, a first three-way valve for connecting these pressurized air supply lines for advancing and reversing the end holders, a second three-way valve provided in the middle of the pressurized air supply line for advancing the end holders, a bypass air line for bypassing the first three-way valve and the first pressure reduction valve to connect the second three-way valve to the pressurized air supply source side pressurized air supply line, a forward and reverse drive unit for the end holders made up of a second pressure reduction valve provided to set the pressure of the bypass air line to a lower pressure than the first pressure reduction valve, and a control unit for controlling the other end holder.

Regrading the device, when a paper roll is mounted, air at a pressure set by the first pressure reduction valve is supplied to the air motor to increase contact force between the paper roll and the end holders, and when operating a rotary press, the second three-way valve is switched to supply air at a pressure set by the second pressure reduction valve to the air motor and the contact force between the paper roll and the end holders is reduced.

(19)日本国特許庁(JP)

# (12) 特 許 公 報(B2)

(11)特許出願公告番号

特公平6-74104

(24) (44)公告日 平成6年(1994) 9月21日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

B 6 5 H 18/06 19/30

7030-3F

Z 7130-3F

発明の数1(全 6 頁)

(21)出顯番号

特顧昭61-5121

(22)出願日

昭和61年(1986) 1月16日

(65)公開番号

特開昭62-167159

(43)公開日

昭和62年(1987) 7月23日

(71)出願人 999999999

三菱重工業株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目5番1号

(72)発明者 田口 俊夫

広島県広島市西区観音新町 4丁目 6番22号

三菱重工業株式会社広島研究所内

(74)復代理人 弁理士 岡本 重文 (外2名)

審査官 菅野 あつ子

#### (54) 【発明の名称】 輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置

1

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】巻取紙中心部の紙管に両端部から係合して同巻取紙を回転可能に支持する一対の軸端保持具と、同軸端保持具の一方を前後進させる軸端保持具用前後進駆動装置と、同軸端保持具の他方を固定する制動装置とを具えた輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置において、前記軸端保持具用前後進駆動装置を、前記軸端保持具の一方を進退可能に支持するケーシングと、同ケーシングに設けたラツクに噛合するビニオンと、同ビニオンに設けたウオームホイールと、同ウオームホイールと、同ウオームホイールと、同ウオームホイールと、同ウオームホイールと、同ウオームホイールと、同ウオームホイールに噛合するウオームを出力軸に設けたエアモータと、圧力空気供給ラインと、同圧力空気供給別の圧力空気供給ラインと、同圧力空気供給ライン及び軸端保持具後退用圧力空気供給ラインと、これらの軸端保持

2

具前後進用圧力空気供給ラインを接続する第1の三方弁と、上記軸端保持具前進用圧力空気供給ラインの途中に設けた第2の三方弁と、同第2の三方弁から上記第1の三方弁及び上記第1の減圧弁を迂回して上記圧力空気供給源側の圧力空気供給ラインに接続したバイバス空気ラインと、同バイバス空気ラインに設けた第2の減圧弁とにより構成し、同第2の減圧弁の設定圧力を上記第1の減圧弁の設定圧力よりも低くしたことを特徴とする輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置。

#### ο 【発明の詳細な説明】

#### (産業上の利用分野)

本発明は巻取紙中心部の紙管に両端部から挿入して同巻 取紙を回転可能に支持する一対の軸端保持具と、同軸端 保持具の一方を介して上記紙管に制動力を伝える制動装 置とを具えた輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置に関す 10

3

るものである。

(従来の技術)

従来の輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置を第2図乃至 第5図により説明すると、第2図の(1)が巻取紙、

(2) が同巻取紙(1) の中心部にある紙管, (3) が 同紙管(2)の両端部に取付けた補強用口金で、同補強 用口金(3)は、第5図に示すようにポンチ部(3a)を 介して紙管(2)に固定され、(3b)部が直角に折り曲 げられ, 鍔状部 (3c) が形成されて, 同鍔状部 (3c) が 紙管(2)の端部を被覆している。また第2,3,4図の (4) (5) が軸端保持具, 第2図の(7) がケーシン グ, (9) (10) が上記軸端保持具(5) を回転及び進 退可能に支持する軸受, (6) が上記軸端保持具(5) の頭部と上記ケーシング(7)との間に介装したばね、 (21) が固定壁, (8) が上記軸端保持具(4) を同固 定壁(21) に回転のみを可能に支持する軸受、(11)が 上記ケーシング(7)に設けたラツク, (12)が同ラツ ク(11) に 関合したビニオン, (13) が同ピニオン(1 2) に一体のウオームホイール, (14) が同ウオームホ イール (13) に 唱合したウオーム, (15) が同ウオーム 20 を回転させるエアモータ、(22)が同エアモータ(15) を支持した固定壁, (20)が圧力空気供給源, (24)が 同圧力空気供給源(20)側の圧力空気供給ライン, (1 9) が同圧力空気供給ライン (24) に設けた減圧弁, (1 6) が上記エアモータ(15) 側の軸端保持具前進用圧力 空気供給ライン, (17) が上記エアモータ (15) 側の軸 端保持具後退用圧力空気供給ライン. (18) が上記各空

(23) が上記軸端保持具(4)の外端部に設けた制動装 置で、巻取紙(1)を輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装 30 置に装着するとには、図示されない搬送装置により巻取 紙(1)が巻取紙装着装置まで搬送されて、巻取紙

気供給ライン(24)(16)(17)を接続する三方弁.

(1)の紙管(2)が巻取紙装着装置の軸心と一致し、 次いで固定壁(22)に固定したエアモータ(15)を駆動 して、その回転をウオーム(14)ウオームホイール(1 3) を介しピニオン(12) に伝え、同ピニオン(12)を 回転して、ラツク(11)を介しケーシング(7)をばね (6) に抗し前進させ、軸端保持具(5)を紙管(2) (補強用口金(3)) に係合して、巻取紙(1)を軸端 保持具(4)とで回転可能に支持する。このとき、圧力 供給源(20)から圧力空気供給ライン(24)→減圧弁 (19) →三方弁(18) →軸端保持具前進用圧力空気供給 ライン (16) を経てエアモータ (15) へ圧力空気が供給 されているが、同圧力空気の圧力に見合う反力が巻取紙 (1)から軸端保持具(5)に作用して、軸端保持具

(5) が前進できなくなると、エアモータ(15)への圧 力空気の供給が停止される。この状態になると、圧縮さ れたばね(6)と軸端保持具(4)(5)とにより、巻 取紙(1)に所定の軸方向押付力が作用して,軸端保持 具(5)が後退方向に移動しようとするが、ウオーム

(14) 及びウオームホイール (13) のセルフロック作用 により、後退方向に移動せず、巻取紙(1)が上記状態

(発明が解決しようとする課題)

に保持される。

前記第2,3,4図に示す従来の輪転印刷機給紙部の巻取紙 装着装置では、制動装置 (23) を有する軸端保持具

(4)が弾性的に保持されていないので、同軸端保持具 (4) 側の補強用口金(3) が運転中, 軸方向押圧力の 外に、ねじり力を受け、第6図の拡開状態に変形して、 ポンチ部 (3a) 及び鍔状部 (3c) が紙管 (2) から浮き 上がる。補強用口金(3)がこのように変形すると、紙 管(2)と補強用口金(3)との間に滑りが生じて、制 動力が紙管(2)及び巻取紙(1)に伝えられなくな り、甚だしい場合には、紙管(2)と補強用口金(3) との間に高速の空周り状態が発生して、摩擦熱により発 煙することがある。また補強用口金(3)が変形してし まって、再使用できないという問題があった。 本発明は前記の問題点に鑑み提案するものであり、その

目的とする処は、制動力を保持したまま、巻取紙への軸 方向押圧力を小さくできて、巻取紙の紙管補強用口金の 変形を防止できる輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置を 提供しようとする点にある。

### (課題を解決するための手段)

上記の目的を達成するために、本発明は、巻取紙中心部 の紙管に両端部から係合して同巻取紙を回転可能に支持 する一対の軸端保持具と、同軸端保持具の一方を前後進 させる軸端保持具用前後進駆動装置と、同軸端保持具の 他方を固定する制動装置とを具えた輪転印刷機給紙部の 巻取紙装着装置において、前記軸端保持用前後進駆動装 置を、前記軸端保持具の一方を進退可能に支持するケー シングと、同ケーシングに設けたラツクに嘲合するピニ オンと、同ピニオンに設けたウオームホイールと、同ウ オームホイールに嘲合するウオームを出力軸に設けたエ アモータと、圧力空気供給源側の圧力空気供給ライン と、同圧力空気供給源側の圧力空気供給ラインに設けた 第1の減圧弁と、上記エアモータ側の軸端保持具前進用 圧力空気供給ライン及び軸端保持具後退用圧力空気供給 ラインと、これらの軸端保持具前後進用圧力空気供給ラ インを接続する第1の三方弁と、上記軸端保持具前進用 圧力空気供給ラインの途中に設けた第2の三方弁と、同 第2の三方弁から上記第1の三方弁及び上記第1の減圧 弁を迂回して上記圧力空気供給源側の圧力上記供給ライ ンに接続したバイパス空気ラインと、同バイバス空気ラ インに設けた第2の減圧弁とにより構成し、同第2の減 圧弁の設定圧力を上記第1の減圧弁の設定圧力よりも低 くしている。

(作用)

本発明の輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置は前記のよ うに構成されており、巻取紙を装着するときには、まず 50 圧力空気を圧力空気供給源→圧力空気供給ライン→第1

の減圧弁→第1の三方弁→第2の三方弁→軸端保持具前 進用圧力空気供給ラインを経てエアモータへ供給し、同 エアモータを駆動して、その回転をウオームとウオーム ホイールとを介しピニオンに伝え、同ピニオンを回転さ せて、ラツクを介してケーシングと軸端保持具の一方と を前進させて、同軸端保持具を巻取紙の紙管補強用口金 に係合させる。このとき、圧力空気は、第1の減圧弁を 経てエアモータへ供給さており、軸端保持具の一方は、 圧力空気を第2の減圧弁を経てエアモータじぇ供給する ときの押圧力よりも高い押圧力で押圧して、紙管の他端 10 部に取付けた補強用口金を制動装置により固定した軸端 保持具の他方にに係合させる。次いで第1の三方弁を切 り換え、圧力空気を圧力空気供給源→圧力空気供給ライ ン→第1の減圧弁→第1の三方弁→軸端保持具後退用圧 力空気供給ラインを経てエアモータへ供給して、同エア・ モータを逆転させ、その回転をウオームとウオームホイ ールとを介しピニオンに伝えて、同ピニオンを逆転さ せ、ラツクを介しケーシングを後退させて、巻取紙の紙 管補強用口金に対する軸方向押圧力を略零にする。次い で第1の三方弁及び第2の三方弁を切り換え、圧力空気 20 を圧力空気供給ライン→第2の減圧弁→第2の三方弁→ 軸端保持具前進用圧力空気供給ラインを経てエアモータ へ供給し、同エアモータを駆動して、その回転をウオー ムとウオームホイールとを介しピニオンに伝え、同ピニ オンを回転させて、ラツクを介してケーシングと軸端保 持具とを前進させて、同軸端保持具を巻取紙の紙管補強 用口金に係合させる。このとき、圧力空気は、第2の減 圧弁を経てエアモータへ供給されており、軸端保持具 は、圧力空気を第1の減圧弁を経てエアモータへ供給す るときの押圧力よりも低い押圧力で押圧する。次いで第 30 2の減圧弁を経たエアモータへの圧力空気の供給を停止 する。これで輪転印刷機は、運転状態に入って、巻取紙 が回転を始める。このとき、軸端保持具の一方は、ウオ ームとウオームホイールとにより、巻取紙側から回転し ないように固定される。この状態は、巻取紙の径が減少 方向に変化しても、変化しない。

このように輪転印刷機が運転状態に入って、巻取紙(1 9)が回転し始めたときには、制動装置(23)により固定された軸端保持具(4)により、巻取紙(1)他端部側の紙管補強用口金(3)が支持される一方、ウオーム 40(14)とウオームホイール(13)とにより巻取紙(1)側から回転しないように固定され且つ圧力空気を第2の減圧弁(26)を経てエアモータ(15)へ供給するときの押圧力(圧力空気を第1の減圧弁(19)を経てエアモータ(15)へ供給するときの押圧力よりも低い押圧力)で押圧される軸端保持具(5)により、巻取紙(1)一端部側の紙管補強用口金(3)が支持される。

## (実施例)

次に本発明の輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置を第1図に示す一実施例により説明すると、(1)が巻取紙、

(2) が同巻取紙(1) の中心部にある紙管, (3) が 同紙管(2)の両端部に取付けた補強用口金、(4) (5)が軸端保持具、(7)がケーシング、(9)(1 0) が上記軸端保持具(5)を回転及び進退可能に支持 する軸受。(6)が上記軸端保持具(5)の頭部と上記 ケーシング(7)との間に介装したばね、(21)が固定 壁, (8) が上記軸端保持具(4)を同固定壁(21)に 回転のみを可能に支持する軸受, (11) が上記ケーシン グ(7) に設けたラツク, (12) が同ラツク(11) に噛 合したピニオン、(13)が同ピニオン(12)に一体のウ オームホイール, (14) が同ウオームホイール (13) に 噛合したウオーム,(15)が同ウオームを回転させるエ アモータ, (22)が同エアモータ(15)を支持した固定 壁, (20)が圧力空気供給源, (24)が同圧力空気供給 源(20)側の圧力空気供給ライン, (19)が同圧力空気 供給ライン (24) に設けた第1の減圧弁, (16) が上記 エアモータ (15) 側の軸端保持具前進用圧力空気供給ラ イン, (17) が上記エアモータ (15) 側の軸端保持具後 退用圧力空気供給ライン、(18) が上記各空気供給ライ ン (24) (16) (17) を接続する第1の三方弁, (27) が上記軸端保持具前進用圧力空気供給ライン(16)の途 中に設けた第2の三方弁, (25)が同第2の三方弁(2 7) から上記第1の三方弁(18) を迂回して上記圧力空 気供給源(20)側の圧力空気供給ライン(24)に接続し たバイバス空気ライン, (26) が同バイバス空気ライン に設けた第2の減圧弁、(23)が上記軸端保持具(4) の外端部に設けた制動装置である。 なお第2の減圧弁 (26) の設定圧力は、第1の減圧弁(26)の設定圧力よ りも低くしてある。

次に前記第1図に示す輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装 置の作用を具体的に説明する。巻取紙(1)を装着する ときには、まず圧力空気を圧力空気供給源(20)→圧力 空気供給ライン (24) →第1の減圧弁 (19) →第1の三 方弁(18)→第2の三方弁(27)→軸端保持具前進用圧 力空気供給ライン(16)を経てエアモータ(15)へ供給 し、同エアモータ(15)を駆動して、その回転をウオー ム(14)とウオームホイール(13)とを介しピニオン (12) に伝え、同ピニオン(12) を回転させて、ラック (11)を介してケーシング(7)とばね(6)により付 勢されている軸端保持具(5)とを前進させて、同軸端 保持具(5)を巻取紙(1)の紙管(2)の一端部に取 付けた補強用口金(3)に係合させる。このとき、圧力 空気は、第1の減圧弁(19)を経てエアモータ(15)へ 供給されており、軸端保持具(5)は、圧力空気を第2 の減圧弁(26)を経てエアモータ(15)へ供給するとき の押圧力よりも高い押圧力で押圧して、紙管(2)の他 端部に取付けた補強用口金(3)を他方の軸端保持具 (4) に係合させる。この軸端保持具(4)は、制動装 置(23)により固定されている。

50 次いで第1の三方弁(18)を切り換え、圧力空気を圧力

7

空気供給源 (20) →圧力空気供給ライン (24) →第1の 減圧弁 (19) →第1の三方弁 (18) →軸端保持具後退用 圧力空気供給ライン (17) を経てエアモータ (15) へ供 給して、同エアモータ (15) を逆転させ、その回転をウ オーム (14) とウオームホイール (13) とを介しビニオ ン (12) に伝えて、同ビニオン (12) を逆転させ、ラッ ク (11) を介しケーシング (7) を後退させて、巻取紙 (1)の紙管 (2)の一端部に取付けた補強用口金

(3) に対する軸方向押圧力を略零にする。

次いで第1の三方弁(18)及び第2の三方弁(27)を切 10 り換え、圧力空気を圧力空気供給ライン(24)→第2の減圧弁(26)→第2の三方弁(27)→軸端保持具前進用圧力空気供給ライン(16)を経てエアモータ(15)へ供給し、同エアモータ(15)を駆動して、その回転をウオーム(14)とウオームホイール(13)とを介しビニオン(12)に伝え、同ビニオン(12)を回転させて、ラツク(11)を介してケーシング(7)とばね(6)により付勢されている軸端保持具(5)とを前進させて、同軸端保持具(5)を巻取紙(1)の紙管(2)の一端部に取付けた補強用口金(3)に係合させる。このとき、圧力20空気は、第2の減圧弁(26)を経てエアモータ(15)へ供給されており、軸端保持具(5)は、圧力空気を第1の減圧弁(19)を経てエアモータ(15)へ供給するときの押圧力よりも低い押圧力で押圧する。

次いで第2の減圧弁(26)を経たエアモータ(15)への 圧力空気の供給を停止する。これで輪転印刷機は、運転 状態に入って、巻取紙(1)が回転を始める。このと き、軸端保持具(5)は、ウオーム(14)とウオームホ イール(13)とにより、巻取紙(1)側から回転しない ように固定される。この状態は、巻取紙(1)の径が減 30 少方向に変化しても、変化しない。

このように輪転印刷機が運転状態に入って、巻取紙(19)が回転し始めたときには、制動装置(23)により固定された軸端保持具(4)により、巻取紙(1)他端部側の紙管補強用口金(3)が支持される一方、ウオーム(14)とウオームホイール(13)とにより巻取紙(1)側から回転しないように固定され且つ圧力空気を第2の減圧弁(26)を経てエアモータ(15)へ供給するときの押圧力(圧力空気を第1の減圧弁(19)を経てエアモー\*

\* タ(15)へ供給するときの押圧力よりも低い押圧力)で 押圧される軸端保持具(5)により、巻取紙(1)一端 部側の紙管補強用口金(3)が支持される。

#### (発明の効果)

本発明の輪転印刷機給紙部の巻取紙装着装置は前記のように輪転印刷機が運転状態に入って、巻取紙(19)が回転し始めたときには、制動装置(23)により固定された軸端保持具(4)により、巻取紙(1)他端部側の紙管補強用口金(3)が支持される一方、ウオーム(14)とウオームホイール(13)とにより巻取紙(1)側から回転しないように固定され且つ圧力空気を第2の減圧弁(26)を経てエアモータ(15)へ供給するときの押圧力(圧力空気を第1の減圧弁(19)を経てエアモータ(15)へ供給するときの押圧力よりも低い押圧力)で押圧される軸端保持具(5)により、巻取紙(1)一端部側の紙管補強用口金(3)が支持されるので、制動力を保持したまま、巻取紙(1)への軸方向押圧力を小さくできて、巻取紙(1)の紙管補強用口金(2)の変形を防止できる効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

第1図は本発明に係わる輪転印刷機給紙部の巻取紙装着 装置の一実施例を示す説明図、第2図は従来の輪転印刷 機給紙部の巻取紙装着装置を示す説明図、第3図は軸端 保持具の正面図、第4図は同軸端保持具の側面図、第5 図は紙管補強用口金を示す側面図、第6図は同紙管補強 用口金の変形状態を示す説明図である。

(1)……巻取紙, (2)……紙管, (4)(5)…… 軸端保持具, (23)……制動装置, (6)~(20)(2 4)~(26)……軸端保持具用前後進駆動装置, (6) ……ばね, (7)……ケーシング, (11)……ラツク, (12)……ピニオン, (13)……ウオームホイール、 (14)……ウオーム、(15)……エアモータ, (20)…… …圧力空気供給源, (24)……圧力空気供給源(20)側 の圧力空気供給ライン, (19)……第1の減圧弁, (1 6)……エアモータ(15)側の軸端保持具前進用圧力空 気供給ライン, (17)……エアモータ(15)側の軸端保 持具後退用圧力空気供給ライン, (18)……第1の三方 弁, (27)……第2の三方弁, (25)……バイバス空気 ライン, (26)……第2の減圧弁。

【第3図】

【第4図】

【第5図】

【第6図】





